

熱 砂

みんな元気に登校しました！ — 新しい友だちを迎えて131名でスタート —

8月26日に歓迎会及び始業式を行いました。新しい友だち13名を迎えての歓迎会では一人一人が自己紹介を行い、在校生が温かく迎えました。また、4名の代表児童生徒がこの夏休みを振り返り、2学期への熱い決意を堂々と発表してくれました。

私は子どもたちに何を話そうか迷った挙句、同じ名前の“イチローさん”を取り上げることにしました。彼の苗字が「鈴木」であることは多くの方がご存知かと思いますが、すると、私と一字違いで殆ど同じ名前ということになります（もちろんイニシャルも同じです）。なんだか嬉しいのですが、ところが名前の漢字表記は「一朗」ですので二字違いとなります。（うーん、残念。）



さて、イチローさんの成功例から『凡事徹底』という言葉を取り上げて子どもたちに話しました。直接の意味は「当たり前のことを徹底的にやる」となります。イチロー選手は「今までに、これだけはやったと言える練習は？」と質問されるとこう答えたそうです。



「僕は高校生活の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」

1日10分の素振りという誰でもできそうな練習を毎日、3年間続けたわけです。これこそ“凡事徹底”といえるのではないのでしょうか。勉強・スポーツ・音楽など、上達させたいことや伸ばしたいことなどなんでも構いません。目標を立て、そこに到達するには、この言葉は重いと感じます。地道な努力こそ成功するためのひとつの条件なのでしょう。

さらに、私は、特に目標を立てることが少ない日常生活においてもこの言葉を意識させたいと考えています。2学期は熱沙祭や砂漠キャンプ、デイキャンプなど大きな行事が控えていますが、目立つことだけでなく、日常のあいさつや返事、掃除、ちょっとした作法や気遣いなどにも「凡事徹底」させていきたいと思うわけです。子どもたちはいずれ、かつて誰も経験したことのないであろうと予想される社会に出ていきます。その際に必要な素養を身につけさせておくのも学校や家庭、地域の義務と考えます。当たり前のことが自然にできる子どもたちであってほしい、そう願っています。

日本風に言えば、「実りの秋」を迎えます。2学期は一年で最も長い期間となります。毎日の時間を大切に、あちらこちらに成長という実を結んでほしいと思います。保護者の皆様にはPTA秋祭りなどご尽力いただくことがあるかと思いますが、子どもたちのために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏休み作品展示が始まります！



夏休み中に児童生徒が取り組んだ作品を本校体育館に展示しております。どの作品からも豊かな発想と感性が感じられます。展示期間は9月2日(月)～9月5日(木)です。ぜひともご鑑賞ください。なお、各種コンクールにも積極的に応募する予定です。



NRT標準学力検査分析結果

確かな学力保障部長 前橋 有

5月に実施しました全国標準診断的学力検査（教研式NRT）の結果をお知らせします。このテストは、小学部2年以上の学年で、国語、算数・数学の2教科において行い、前年度の学習内容（例 小2の場合は小1の内容）となっています。また、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

【国語】

- 〈小学校〉 ○全ての学年において偏差値平均が全国平均を上回っており、良好な状況です。
○4つの領域別（①話すこと・聞くこと ②書くこと ③読むこと ④伝統的な言語文化と国語の特質）にみると、全国平均を上回っている領域がほとんどで、概ね良好な状況です。
- 〈中学校〉 ○全ての学年において偏差値平均が全国平均を上回っており、良好な状況です。
○4つの領域別に見ても、全学年・全領域において全国平均を上回っており、理解度が高いことが分かります。

【算数・数学】

- 〈小学校〉 ○全ての学年において偏差値平均が全国平均を上回っており、良好な状況です。
○4つの領域別（①数と計算 ②量と測定 ③図形 ④数量関係）にみると、全国平均を上回っている領域がほとんどで、概ね良好な状況です。
- 〈中学校〉 ○全ての学年において偏差値平均が全国平均を上回っており、良好な状況です。
○4つの領域別（①数と式 ②関数 ③図形 ④資料の活用）にみると全国平均を上回っている領域がほとんどで、概ね良好な状況です。

今回の分析結果を基に、今後の学力向上対策について焦点化し、継続した取組を進めます。